

危機管理監 マネジメント方針

危機管理監は市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和5年4月1日

危機管理監
牧野 聖一



【基本方針】

安全で安心なまちづくりを進めるため、自然災害だけでなくあらゆる危機事象を一元的に総括・調整する、危機管理の司令塔として、部局の枠にとらわれることなく、全庁体制で情報の収集、分析を行い、迅速かつ的確な意思決定ができるよう体制の整備を図ります。

また、市民、市民組織、事業者、他自治体と連携することで、災害発生時の被害の軽減と支援体制の充実を図り、市民の生命・身体・財産を守ります。

【組織目標】

- I. 地震、津波、大雪など自然災害など、あらゆる危機事案による被害の軽減を図るため、危機管理体制を強化します
- II. 地域の防災力を向上させるため、自主防災組織の育成及び市民への防災意識の普及啓発を図ります
- III. 防犯隊等の活動を支援し、安全で安心なまちづくりの推進に努めます






組織目標 I 地震、津波、大雪など自然災害など、あらゆる危機事案による被害の軽減を図るため、危機管理体制を強化します。

行動目標	SDGs 指標
<p>1 ①危機管理体制の見直しに向けた検討</p> <p>想定外の非常時や、全庁的な対応が求められる災害、危機事象が発生した際に、迅速かつ確かな意思決定や命令等の伝達が可能となるよう、危機事象の対象や範囲の捉え方、事前の想定や準備、災害や危機事象が発生した際の具体的な対応等、危機管理の在り方について見直します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(仮称)危機管理体制検討会議の設置・開催による体制等の見直し</p> </div>	 
<p>2 実践的・広域的な防災訓練等の実施</p> <p>災害時の様々な課題に対して臨機応変に対応できるよう、職員の災害対応能力の向上を目的とした職員防災訓練等を実施します。また、災害時応援協定を締結している自治体や民間事業者等と迅速な連携対応ができるよう訓練を実施します。さらに、連携中枢都市圏域の市町の職員及び自主防災組織の防災力の向上を図るため研修会等を開催します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>職員を対象とした防災訓練の実施 : 10 回</p> <p>関係機関との連携訓練の実施 : 5 回</p> <p>連携中枢都市圏域の研修会等の開催 (職員研修 2 回、自主防災組織リーダー研修 1 回、市町連絡会 1 回) : 4 回</p> </div>	 
<p>3 災害時における民間企業等との連携強化</p> <p>大規模災害時に応急対応や復旧対策を円滑に遂行するため、人的・物的支援について協力をいただけるよう、様々な業種の民間企業等との応援協定締結を推進します。</p> <p>また、災害時における一時的な避難場所を拡充するため、地域と民間企業等との協定締結を支援します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>民間企業等との災害時応援協定の締結数 (累計) : 56 件 (4 年度) → 62 件 (5 年度)</p> <p>③4 地域と民間企業等との災害時応援協定の締結数 (累計) : 21 件 (4 年度) → 27 件 (5 年度)</p> </div>	 



災害時応援協定締結式の様子

組織目標Ⅱ 地域の防災力を向上させるため、自主防災組織の育成及び市民への防災意識の普及啓発を図ります

行動目標	SDGs 指標
<p>4 地域の防災力の向上</p> <p>地域での防災力の向上を図るため、自主防災組織を対象とした各種研修会を開催します。</p> <p>また、避難行動要支援者の個別避難計画については、年度ごとに推進地区を選定し、関係団体と協議を行い地区に合った実施体制を整えた上で計画づくりを推進します。</p> <p>さらに、市民への防災意識の普及啓発を図るため、家庭内備蓄やマイ・タイムライン（※）作成等を促す防災フェアを開催します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自主防災組織を対象とした研修会の開催 ： 3回</p> <p>個別避難計画作成の推進地区数 ： 12地区</p> <p>防災フェアの開催 ： 2回</p> </div> <p>※ 災害時における避難に備え、住民一人ひとりがあらかじめ自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したもの</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>個別避難計画に係る説明会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>避難行動要支援者の避難訓練</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>防災フェア</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div>

組織目標Ⅲ 防犯隊等の活動を支援し、安全で安心なまちづくりの推進に努めます

行動目標

SDGs 指標

5 防犯活動の支援

住民の防犯意識の高揚と犯罪の未然防止を図るため、防犯隊等への活動支援を実施し、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりの推進に努めます。

また、高齢化、人口減少などの社会環境の変化により、通学路や高齢者等の生活を見守る地域の目が少なくなっていることから、プライバシーに対する住民の理解や協力を得ながら、地域の防犯力向上を目的に防犯カメラの設置を支援します。

③7 千人当たりの刑法犯認知件数（※）： 5.15件以下
防犯パトロール実施回数： 1,561回（4年度）→1,600回（5年度）
防犯カメラの設置地区数： 2地区

※ 当年1月から12月までの市内の刑法犯認知件数/当年10月1日の人口×1,000



防犯パトロールの様子